

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	東北財務局長
【提出日】	平成26年10月9日
【四半期会計期間】	第41期第2四半期（自平成26年6月1日至平成26年8月31日）
【会社名】	株式会社サンデー
【英訳名】	SUNDAY CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 川村 暢朗
【本店の所在の場所】	青森県八戸市根城六丁目22番10号
【電話番号】	0178（47）8511
【事務連絡者氏名】	常務取締役管理本部長 成澤 真一
【最寄りの連絡場所】	青森県八戸市根城六丁目22番10号
【電話番号】	0178（47）8511
【事務連絡者氏名】	常務取締役管理本部長 成澤 真一
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第40期 第2四半期 連結累計期間	第41期 第2四半期 連結累計期間	第40期
会計期間	自平成25年 3月1日 至平成25年 8月31日	自平成26年 3月1日 至平成26年 8月31日	自平成25年 3月1日 至平成26年 2月28日
売上高 (千円)	24,366,209	25,228,411	46,903,011
経常利益 (千円)	803,266	990,532	1,268,997
四半期(当期)純利益 (千円)	486,133	592,908	733,507
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	483,910	595,389	734,657
純資産額 (千円)	8,742,687	9,437,866	8,993,385
総資産額 (千円)	29,349,064	31,374,313	29,220,655
1株当たり四半期(当期)純利益 金額 (円)	45.18	55.10	68.17
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	45.15	55.02	68.11
自己資本比率 (%)	29.8	30.0	30.8
営業活動によるキャッシュ・フ ロー (千円)	2,214,434	1,859,739	1,721,072
投資活動によるキャッシュ・フ ロー (千円)	237,663	867,723	1,113,552
財務活動によるキャッシュ・フ ロー (千円)	1,071,711	124,833	520,839
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高 (千円)	1,643,276	1,692,079	824,896

回次	第40期 第2四半期 連結会計期間	第41期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自平成25年 6月1日 至平成25年 8月31日	自平成26年 6月1日 至平成26年 8月31日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	34.12	28.52

(注) 売上高には消費税等は含まれておりません。

## 2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の異常な変動又は、前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1)業績の状況

当第2四半期連結累計期間（2014年3月1日～2014年8月31日）における東北地域の経済は、政府の経済対策および日銀の金融緩和を背景に、緩やかな回復基調が続いております。個人消費につきましては、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動の長期化が懸念されるものの、底堅く推移しております。一方、小売業界におきましては、競争環境の激化、異常気象による天候不順の影響、原材料高によるコストアップ等、厳しい経営環境が続いております。

このような状況のもと、当社グループ（当社及び連結子会社）におきましては、お客さまの利便性を高めるため「近くて便利。日々の暮らしに役立つ衣食住を手頃な価格でご提供する店」として東北の農業エリアに展開する新業態「ホームマート」の新店、ホームセンター既存店の改造、新しい商品とサービスの提供に努めてまいりました。第1四半期は消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の影響や販促強化により、農業資材・ガーデニング用品・苗木・DIY用品・住宅設備・作業衣料・日用品・リカーを中心に昨年を上回りました。第2四半期は、例年より早い梅雨入りや8月の天候不順ならびに局地的豪雨等が影響し、夏物商品が落ち込みましたが、長靴や合羽等の作業衣料が伸びました。また、梅雨明けと共に、塗料、除草剤・除草具、殺虫剤が動き、お盆にかけて切花、墓参用品、ギフト、リカーを中心に盛り返しました。

新規出店につきましては、「ホームマート」の福島県初出店となる「矢吹店」（福島県矢吹町）と「南郷店」（青森県八戸市）の2店舗を4月に、「金木店」（青森県五所川原市）と秋田県初出店となる「比内店」（秋田県大館市）の2店舗を7月に、「小坂店」（秋田県小坂町）を8月にそれぞれオープンいたしました。いずれの店舗も農業資材・作業衣料等のほか、冷凍食品・日配品も取り揃えるとともに、お買い上げいただいた商品や電話・FAXでのご注文に対し、従業員がお客さまのご自宅まで商品をお届けする宅配サービス「SUN急便」を実施し、地域のお客さまにご利用いただいております。

営業面では、「新しいホームセンターの構築」に向け、㈱サンデーにおいて青森浜田店、弘前安原店、八戸新井田店、八戸根城店、八戸沼館店、盛岡前潟店、秋田八橋店の7店舗をリニューアルいたしました。このうち5店舗において登録販売者を配置し、一般医薬品の販売をスタートさせるとともに、介護用品およびヘルス&ビューティーケア用品と融合した売場を構築し、お客さまから好評を得ております。さらに、新しい取り組みとして、ワインと植物を組み合わせたライフスタイル提案、キッズ売場新設等を行いました。このような、新商品および新サービス導入のほか、お値打ちな価格提案、除雪機の早期予約販売やマイカードによる販促をはじめ、イオンのブランド「トップバリュ」商品の拡販およびホームセンターらしさを打ち出した自社開発商品の強化を図りました。一方、各種カードにつきましては、お得なポイントカード「マイカード」、法人向け掛売りに対応した「法人カード」、収穫払いに対応した農家向けクレジットカード「アグリッシュカード」の会員数を伸ばしております。また、イオングループの電子マネー「WAON」を㈱サンデーのホームセンター全46店舗で展開するとともに、クレジットカード「イオンサンデーカード」の分割無金利実施を行いました。

社会貢献活動につきましては、毎月11日のクリーン&グリーン活動、植樹活動、各種募金活動、環境省が呼びかけるCO2削減「ライトダウンキャンペーン」などに取り組んでおります。

なお、当第2四半期連結会計期間末日現在の当社グループの店舗数は、89店舗（㈱サンデーのホームセンター46店舗、ホームマート9店舗、イオンスーパーセンター㈱へのコンセッションナリー参画15店舗、子会社㈱ジョイ19店舗）となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループ（当社及び連結子会社）の連結売上高は252億28百万円（前年同期比8億62百万円の増）、連結営業利益は9億83百万円（前年同期比1億79百万円の増）、連結経常利益は9億90百万円（前年同期比1億87百万円の増）、連結四半期純利益は5億92百万円と前年同期から1億6百万円増加し、増収増益を達成いたしました。

(2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に対して21億53百万円増加し313億74百万円となりました。これは主に新規出店に伴う建物等の有形固定資産の増加9億43百万円、現金及び預金の増加8億67百万円、受取手形及び売掛金の増加1億80百万円等によるものであります。

負債については、前連結会計年度末に対して17億9百万円増加し219億36百万円となりました。これは主に商品仕入れ増加と期末日が金融機関の休業日のための手形未決済による支払手形及び買掛金の増加12億41百万円、新店投資に伴う長期借入金の増加4億31百万円等によるものであります。

純資産については前連結会計年度末に対して4億44百万円増加し94億37百万円となりました。これは主に四半期純利益5億92百万円の計上と配当金の支払い1億61百万円等によるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）は、前連結会計年度末残高に対して8億67百万円増加し、16億92百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は18億59百万円（前年同期比16.0%減）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益9億60百万円（前年同期比20.8%増）、減価償却費4億16百万円（前年同期比15.2%増）、仕入債務の増加額12億41百万円（前年同期比41.3%減、期末日が金融機関の休日による未決済手形を含む）、売上債権の増加1億80百万円（前年同期比9.9%減）、法人税等の支払4億21百万円（前年同期比3.6%増）等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により使用した資金は8億67百万円（前年同期比265.1%増）となりました。これは主に新規出店に伴う有形固定資産の取得による支出8億68百万円（前年同期比204.3%増）によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により使用した資金は1億24百万円（前年同期比88.4%減）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出7億40百万円（前年同期比57.2%減）、短期借入金の純減額5億円（前年同期は純増額9億80百万円）、長期借入金の借入による収入13億円（前年同期比27.8%減）等によるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

(6) 主要な設備

当第2四半期連結累計期間において、新たに確定した重要な設備の新設は下記のとおりであります。なお、当社グループはホームセンター事業の単一セグメントであるため、セグメントの名称に関する記載を省略しております。

会社名	事業所名 (所在地)	設備の内容	投資予定額		資金調達 方法	着手及び完了予定		予定売 場面積 (㎡)
			総額 (千円)	既支払額 (千円)		着手	完了	
(株)サンデー	土崎港北店 (秋田県秋田市)	新設 (土地賃借) (建物所有)	479,353	241,900	自己資金 及び借入金	平成26年6月	平成26年11月	3,000

(注) 1. 投資予定金額については、差入保証金が含まれております。

2. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	20,640,000
計	20,640,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成26年8月31日)	提出日現在発行数(株) (平成26年10月9日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	10,764,700	10,764,700	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 100株
計	10,764,700	10,764,700	-	-

(注)「提出日現在発行数」欄には、平成26年10月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は含まれておりません。

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高(千円)
平成26年6月1日～ 平成26年8月31日	-	10,764	-	3,240,218	-	3,254,597

(6)【大株主の状況】

平成26年8月31日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数 に対する所有株式 数の割合(%)
イオン株式会社	千葉県千葉市美浜区中瀬 1 - 5 - 1	8,288	76.99
株式会社みちのく銀行	青森県青森市勝田 1 - 3 - 1	133	1.23
サンデー従業員持株会	青森県八戸市根城 6 - 22 - 10	89	0.82
三井住友海上火災保険株式会社	東京都千代田区神田駿河台 3 - 9	79	0.74
株式会社北日本銀行	岩手県盛岡市中央通 1 - 6 - 7	74	0.68
みずほ信託銀行株式会社	東京都中央区八重洲 1 - 2 - 1	66	0.61
株式会社岩手銀行	岩手県盛岡市中央通 1 - 2 - 3	53	0.49
株式会社七十七銀行	宮城県仙台市青葉区中央 3 - 3 - 20	53	0.49
株式会社秋田銀行	秋田県秋田市山王 3 - 2 - 1	53	0.49
株式会社商工組合中央金庫	東京都中央区八重洲 2 丁目10 - 17	51	0.47
計	-	8,942	83.07

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成26年8月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 4,100	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 10,755,700	107,557	-
単元未満株式	普通株式 4,900	-	1単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	10,764,700	-	-
総株主の議決権	-	107,557	-

(注) 1. 上記「完全議決権株式(その他)」には証券保管振替機構名義の株式が 500株(議決権5個)含まれております。

2. 上記「単元未満株式」には当社所有の自己株式54株が含まれております。

【自己株式等】

平成26年8月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
株式会社 サンデー	青森県八戸市 根城六丁目22番10号	4,100	-	4,100	0.03
計	-	4,100	-	4,100	0.03

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書の提出後、当四半期報告書の提出日までにおいて、役員の異動はありません。



## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成26年6月1日から平成26年8月31日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成26年3月1日から平成26年8月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

## 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	929,896	1,797,079
受取手形及び売掛金	328,565	508,762
商品及び製品	8,599,621	8,626,485
原材料及び貯蔵品	71,311	125,306
繰延税金資産	258,808	277,097
未収入金	200,426	254,672
その他	213,393	251,351
流動資産合計	10,602,023	11,840,756
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物(純額)	6,786,565	7,051,032
機械装置及び運搬具(純額)	16,820	22,762
土地	8,498,525	8,498,525
リース資産(純額)	36,311	288,997
建設仮勘定	121,241	416,636
その他(純額)	510,533	635,570
有形固定資産合計	15,969,997	16,913,524
<b>無形固定資産</b>		
ソフトウェア	87,919	82,463
その他	27,664	27,403
無形固定資産合計	115,584	109,867
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	88,365	90,914
長期貸付金	521,945	471,312
長期前払費用	285,262	303,676
差入保証金	1,149,349	1,156,838
繰延税金資産	471,053	468,709
その他	43,946	46,105
貸倒引当金	26,871	27,390
投資その他の資産合計	2,533,050	2,510,165
<b>固定資産合計</b>	<b>18,618,632</b>	<b>19,533,557</b>
<b>資産合計</b>	<b>29,220,655</b>	<b>31,374,313</b>

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,778,121	10,019,830
短期借入金	2,600,000	2,100,000
1年内返済予定の長期借入金	1,467,316	1,595,716
リース債務	16,783	37,157
未払金	631,681	912,465
未払法人税等	539,278	410,614
賞与引当金	344,583	427,516
役員業績報酬引当金	25,579	19,615
ポイント引当金	177,462	187,330
リース資産減損勘定	11,188	4,221
設備関係支払手形	155,387	305,545
その他	927,230	676,546
流動負債合計	15,674,612	16,696,559
固定負債		
長期借入金	3,425,620	3,856,812
リース債務	19,696	254,272
退職給付引当金	372,697	351,954
債務保証損失引当金	47,108	45,317
リース資産減損勘定	1,687	784
資産除去債務	473,659	500,039
その他	212,188	230,707
固定負債合計	4,552,657	5,239,887
負債合計	20,227,269	21,936,447
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,240,218	3,240,218
資本剰余金	3,254,597	3,254,597
利益剰余金	2,492,473	2,923,817
自己株式	4,005	3,114
株主資本合計	8,983,283	9,415,518
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,352	4,833
その他の包括利益累計額合計	2,352	4,833
新株予約権	7,750	17,513
純資産合計	8,993,385	9,437,866
負債純資産合計	29,220,655	31,374,313

## (2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
売上高	24,366,209	25,228,411
売上原価	17,225,649	17,530,411
売上総利益	7,140,560	7,698,000
販売費及び一般管理費	6,336,203	6,714,115
営業利益	804,356	983,885
営業外収益		
受取利息	3,692	3,109
受取地代家賃	34,684	33,308
受取手数料	4,709	4,386
その他	7,897	17,448
営業外収益合計	50,983	58,251
営業外費用		
支払利息	32,676	34,294
貸貸費用	14,422	13,311
その他	4,976	3,998
営業外費用合計	52,074	51,604
経常利益	803,266	990,532
特別利益		
受取保険金	7,556	-
特別利益合計	7,556	-
特別損失		
固定資産除却損	6,070	19,371
災害による損失	9,941	-
システム移行費用	-	10,684
特別損失合計	16,012	30,056
税金等調整前四半期純利益	794,810	960,475
法人税、住民税及び事業税	290,935	383,511
法人税等調整額	17,742	15,944
法人税等合計	308,677	367,567
少数株主損益調整前四半期純利益	486,133	592,908
四半期純利益	486,133	592,908

【四半期連結包括利益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	486,133	592,908
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,223	2,481
その他の包括利益合計	2,223	2,481
四半期包括利益	483,910	595,389
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	483,910	595,389

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	794,810	960,475
減価償却費	361,630	416,696
災害損失	9,941	-
受取保険金	7,556	-
貸倒引当金の増減額(は減少)	310	519
賞与引当金の増減額(は減少)	91,557	82,933
役員業績報酬引当金の増減額(は減少)	2,965	5,964
債務保証損失引当金の増減額(は減少)	1,886	1,790
退職給付引当金の増減額(は減少)	21,164	20,743
ポイント引当金の増減額(は減少)	2,889	9,867
店舗閉鎖損失引当金の増減額(は減少)	11,597	-
固定資産除却損	6,070	19,371
受取利息及び受取配当金	5,721	4,716
支払利息	32,676	34,294
システム移行費用	-	10,684
売上債権の増減額(は増加)	199,951	180,197
たな卸資産の増減額(は増加)	348,937	80,859
仕入債務の増減額(は減少)	2,114,016	1,241,709
その他	197,357	159,628
小計	2,610,364	2,322,652
利息及び配当金の受取額	3,562	2,749
利息の支払額	31,397	33,531
補助金の受取額	40,884	-
災害損失の支払額	2,280	-
システム変更による支払額	-	10,684
法人税等の支払額	406,699	421,446
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,214,434	1,859,739

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年3月1日 至 平成26年8月31日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	105,000	105,000
定期預金の払戻による収入	105,000	105,000
有形固定資産の取得による支出	285,454	868,632
有形固定資産の除却による支出	1,861	-
無形固定資産の取得による支出	16,648	10,263
投資有価証券の取得による支出	-	67
投資有価証券の売却による収入	2,200	-
貸付けによる支出	1,000	1,600
貸付金の回収による収入	72,219	53,701
差入保証金の差入による支出	5,293	27,806
差入保証金の回収による収入	20,904	20,829
その他	22,729	33,884
投資活動によるキャッシュ・フロー	237,663	867,723
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額（は減少）	980,000	500,000
長期借入れによる収入	1,800,000	1,300,000
長期借入金の返済による支出	1,730,808	740,408
自己株式の取得による支出	52	152
配当金の支払額	160,851	160,921
その他	-	23,350
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,071,711	124,833
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	905,060	867,182
現金及び現金同等物の期首残高	738,216	824,896
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,643,276	1,692,079

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

四半期連結会計期間末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしております。なお、当四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が四半期連結会計期間末日残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
支払手形	- 千円	463,232千円
設備関係支払手形	-	96,854

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な科目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
給料手当	2,123,811千円	2,216,986千円
賞与引当金繰入額	390,411	394,083
役員業績報酬引当金繰入額	14,894	19,615
退職給付費用	49,376	49,014
賃借料	800,465	734,970

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
現金及び預金勘定	1,748,276千円	1,797,079千円
預金期間が3ヶ月を超える定期預金	105,000	105,000
現金及び現金同等物	1,643,276	1,692,079



(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成25年3月1日至平成25年8月31日)

配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年4月9日 取締役会	普通株式	161,391	15	平成25年2月28日	平成25年5月23日	利益剰余金

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成26年3月1日至平成26年8月31日)

配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年4月8日 取締役会	普通株式	161,391	15	平成26年2月28日	平成26年5月23日	利益剰余金

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成25年3月1日至平成25年8月31日)

当社グループの報告セグメントは、ホームセンター事業単一であるため、セグメント情報の記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間(自平成26年3月1日至平成26年8月31日)

当社グループの報告セグメントは、ホームセンター事業単一であるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	45円18銭	55円10銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	486,133	592,908
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	486,133	592,908
普通株式の期中平均株式数(株)	10,759,393	10,759,630
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	45円15銭	55円02銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額(千円)	-	-
普通株式増加数(株)	7,666	15,948
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	-	-

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年10月7日

株式会社 サンデー  
取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 田村 剛 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 木村 大輔 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社サンデーの平成26年3月1日から平成27年2月28日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成26年6月1日から平成26年8月31日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成26年3月1日から平成26年8月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社サンデー及び連結子会社の平成26年8月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2 XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。